

新しい試み

旧約聖書は初めヘブル語で書かれ、新約聖書はすべてギリシャ語で書かれたというのがキリスト教界において広く知られている通説です。しかし新約聖書は、旧約聖書の土台の上に書かれた、言わば旧約聖書の続編です。旧約聖書がヘブル語で書かれたならば、その続編である新約聖書もヘブル語で解釈するべきではないかと思われました。特に福音書は、ヘブル語を公用語とするユダヤ人としてお生まれになったイエシュア（イエスのヘブル語的発音）が、イスラエルを巡り、同じくヘブル語を話すユダヤ人たちに対して語りかけ、働きかけた内容が記された書です。ですからギリシャ語で解釈するよりも、ヘブル語で解釈の方が自然です。言語にはそれぞれ特有の表現、ことわざや言い回しなどが存在します。それはたいてい非常に翻訳しにくいものです。たとえば短歌や俳句の持つ特有の美しさを、英語に翻訳して表現することは非常に難しいことですよね。新約聖書をヘブル語で解釈する。この新しい試みの初めとして、ヨハネの福音書を選びました。

「ことば」

ヨハネの福音書 1 章 1～18 節

1. 初めに

1:1 初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

「初めに…」ヘブル語ではこれをベレーシート(בְּרֵאשִׁית)と言います。しかしこれは単に「初めに」という意味だけではありません。なぜならヘブル語で用いられるヘブル文字「アレフベート」は、文字の一つひとつに意味があるからです。文字というよりも絵に近く、象形文字と呼ばれるものです。私たちが使う漢字もこれと同じ特性を持っていますね。ベレーシートを構成している 6 つのヘブル文字の持つそれぞれの意味を理解することで、ベレーシート「初めに」という言葉の持つ本当の意味が見えてきます。



- ・ベート(ב)…家を象った象形文字で、国、国家、国民などを表し、神の「御国」を直接的に表す文字です。
- ・レーシュ(ר)…頭を象った象形文字で、かしら、思考を表す文字です。
- ・アーレフ(א)…雄牛を象った象形文字で、力ある神を表す文字です。
- ・シーン(ש)…歯を象った象形文字で、噛む、という意味から固形物、形あるものという意味があります。

・ヨッド(י)…手を象った象形文字で、神の力、御業を意味します。

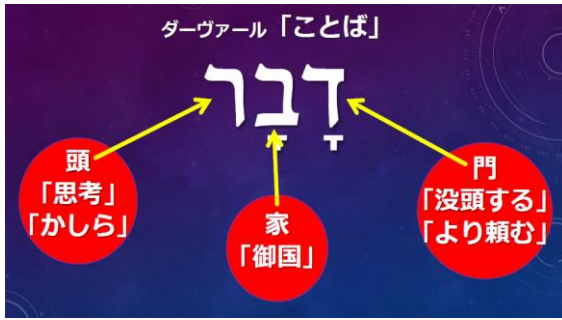
・ターヴ(ת)…しるし(x)を象った象形文字で、象徴、選び、そして完成という意味があります。

これらの意味を組み合わせると

「御国を思い描いた神は、御手によってそれを形に現される」

というメッセージが浮かび上がってきます。御国が形となって現れる、つまり「御国が来ますように」です。そのために用いられる存在が「ことば」です。しかしこれも私たちが持っている「ことば」の概念とヘブル語

のダーヴァール(דַּבָּר)では大きく違います。これも分解して見てみましょう。



- ・ダーレット(ד)…門を象った象形文字で、入門、専門とあるように一つの事柄に没頭する、より頼むという意味があります。
- ・ベート(ב)…家を象った象形文字で、国、国家、国民などを表し、神の「御国」を直接的に表す文字です。
- ・レーシュ(ר)…頭を象った象形文字で、かしら、思考を表す文字です。

これらの意味を組み合わせると

「御国を思い、それに没頭する」

というメッセージが浮かび上がってきます。そしてもう一つ

「門である御国のかしら」

という意味も浮かび上がってきます。この二つの条件を満たすお方、それがイエシュアであることが解ります。

ヨハネ 10:9

わたしは門です。だれでも、わたしを通して入るなら、救われます。

1:2 この方は、初めに神とともにおられた。

1:3 すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

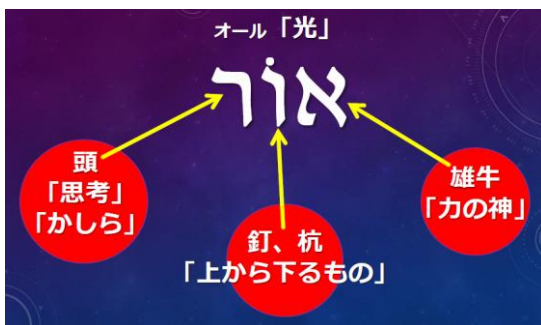
イエシュアは神であり、イエシュアによって万物は創造されました。創世記 1:1「初めに、神が天と地を創造した」です。

2. 光と闇

1:4 この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。

1:5 光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。

光と闇。この概念も、私たちの持っているそれとは大きく違います。まず光はオール(אור)です。



- ・アーレフ(א)…雄牛を象った象形文字で、力ある神を表す文字です。
- ・ヴァーヴ(ו)…釘、杭を象った象形文字で、上から打ち込まれる、差し込まれる、与えられるものを意味します。
- ・レーシュ(ר)…頭を象った象形文字で、かしら、思考を表す文字です。

これらの意味を組み合わせると

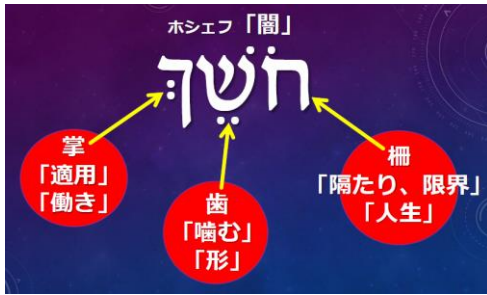
「神の思い、考えが上から与えられる」

というメッセージが浮かび上がってきます。更にもう一つ

「神のもとから下ってきたかしら」

という意味もあり、これはイエシュアを表しているとも考えられます。つまり「光」とは、イエシュアによって「神の思い、考え、神の御心、ご計画を知る」ことであることが解ります。

一方「闇」はホシェフ(חֹשֶׁךְ)です。分解して見ましょう。



・ヘット(ח)…柵を象った象形文字です。隔たり、限界を意味し、限りある朽ちる身体を持った人の歩み、人生を表す文字です。

・シーン(ש)…歯を象った象形文字で、噛む、という意味から固形物、形あるものという意味があります。

・カフ(כ)…手のひらを象った象形文字です。適用、行い、働きを意味する文字です。

これらの意味を組み合わせると

「神との隔たりのある、限界のある人の生き様」を表していることが解ります。誰もが「噛む」つまり食べるために「働いて」います。神の思い、ご計画を知らない人にとって人生はまるで柵に遮られて見通すことのできない、明日をも知れぬまさに「闇」です。闇は打ち勝たなかったとありますが、別訳では「闇はこれを悟らなかった」と訳しています。

3. ヨハネ

1:6 神から遣わされたヨハネという人が現れた。

ヨハネ(יֹחָנָן)という人物が登場します。ハーナン(חֲנָן)訳すと「恵む、憐れむ、情けをかける」という意味の言葉の派生語となっていますが、神から遣わされた「恵み、憐れみ、情け」とは一体何でしょうか。これもヘブル語から見てみましょう。



・ヘット(ח)…柵を象った象形文字です。隔たり、限界を意味し、人の歩み、人生を表す文字です。

・ヌーン(נ)…魚を象った象形文字です。魚が水から出れば死ぬように、そこから外れる、出ることは滅びを意味するような神の規定、おきてを意味する文字です。

これらの意味を組み合わせると

「人生に与えられた二つの規定」というメッセージが浮かび上がってきます。では二つの規定とは何でしょうか。それはヘットが柵、隔たりを意味することから「救い」そして「滅び」の規定と考えられます。私たちは今のこの限りある人生の中で、次にやってくる永遠の人生を「救い」である御国で生きるか、それとも「滅び」である火の池で生きるかに分けられるのです。

1:7 この人はあかしのために来た。光についてあかしするためであり、すべての人が彼によって信じるためである。

1:8 彼は光ではなかった。ただ光についてあかしするために来たのである。

この人、彼すなわちヨハネ、神の恵み、憐れみハーナン、救いと滅びを分けるという神のご計画は「光」オール、すなわち神の思い、考え計画であることを表しています。

4. すべての人

1:9 すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。

この光、オールはすべての人を照らします。つまりこの神の思いである救いと滅びの計画は、すべての人に適用されます。これから漏れる人はありません。

1:10 この方はもともと世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。

あとに続く言葉から、これは異邦人について語られているものと考えられます。

1:11 この方はご自分のくじにいられたのに、ご自分の民は受け入れなかった。

そしてこれはユダヤ人を表しています。

1:12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

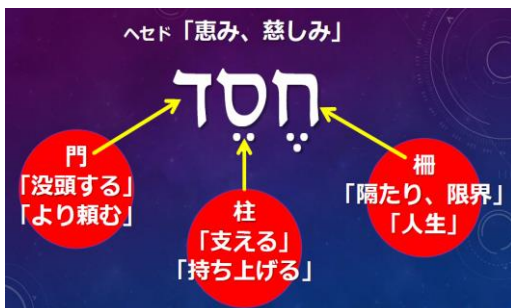
1:13 この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。

「血によってではなく」とは血統、血筋、つまり異邦人だからユダヤ人だからというものではなく、どんな人間のどんな思いによっても左右されることのない、ただ神の主権による選びによって救われる者と滅びる者は決定されるということです。ユダヤ人であろうと異邦人であろうと、救われる者は救われ、滅びる者は滅びるのです。

5. 恵みとまこと

1:14 ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもともとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

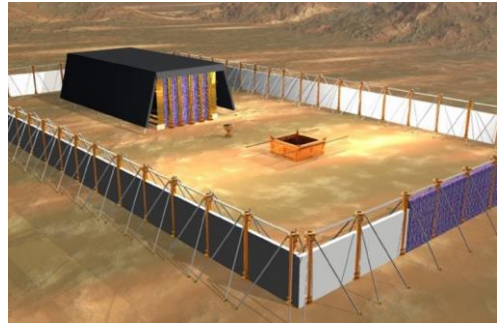
これは再臨のイエシュア、救いである「御国」の完成した姿です。イエシュアは「恵み」と「まこと」に満ちておられたとあります。恵みはヘセド(חֶסֶד)、まことはエメット(אֱמֶת)です。それぞれ分解して見てみましょう。まずはヘセドです。



- ・ヘット(ח)…柵を象った象形文字です。隔たり、限界を意味し、人の歩み、人生を表す文字です。
- ・サーメフ(ס)…柱を象った象形文字です。支える、持ち上げるという意味があります。
- ・ダーレット(ד)…門を象った象形文字で、入門、専門とあるように一つの事柄に没頭する、より頼むという意味があります。

これらの意味を組み合わせると「人の生きる支えであり拠り所」というメッセージが浮かび上がってきます。生まれながらの罪人であり、朽ちる肉体を持った私たちは、自分で自分を救うことができません。自分の正当性を神に主張して救われることもあり得ません。ただ神の恵み、ヘセドにすぎるしかないのです。御国におい

でもイエシュアとはまさにそのような存在です。朽ちない身体が与えられる、永遠のいのちが与えられるから私たちは永遠に生きられるわけではありません。イエシュアがともにいてくださるから永遠に生きられるのです。また興味深いことに、この三つの文字はどれも幕屋の外側に使われる部位であることが解ります。岩波訳の聖書では 14 節の「私たちの間に住まわれた」という部分を「幕屋を張られた」と訳しています。まさに「恵み」ヘセドとは御国である神の幕屋の中に入るか、入れないかを決定づけるものであることを表しています。



次に「まこと」エメットを見てみましょう。



・アーレフ(א)…雄牛を象った象形文字で、力ある神を表す文字です。

・メーム(מ)…水を象った象形文字です。永遠に変わることのない神の真理を意味しています。

・ターヴ(ת)…しるし(×)を象った象形文字で、象徴、選び、そして完成という意味があります。

これらの意味を組み合わせると「神の真理の完成」「神の永遠の選び」というメッセージが浮かび上がってきます。しかも先ほどのヘセドが幕屋の外枠を表しているのに対してこのエメットはその中にあるものを表しています。すなわち神を表すアーレフ、涸れることのない永遠の命の水を表すメーム、そしてターヴに表されるのは神に記しをつけられた者、つまり神に選ばれた者たちです。このように恵みとまことという一見抽象的で精神的に捉えるしかない言葉も、ヘブル語で見れば、具体的に形あるものとなるのです。

6. 律法

1:15 ヨハネはこの方について証言し、叫んで言った。「『私のあとから来る方は、私にまさる方である。私より先におられたからである』と私が言ったのは、この方のことです。」

1:16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。

1:17 というのは、律法はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。

「恵みの上にさらに恵み」二つの恵みが示されていますが、ヘブル語ではどちらの恵みもヘセドです。ヘセドが表すのは神の幕屋である「御国」の外枠、つまり救いと滅びの境界線です。最初の「恵み」はまずモーセに与えられた律法によって啓示されました。この律法はトーラー(תּוֹרָה)と言います。

・ターヴ(ת)…しるし(×)を象った象形文字で、象徴、選び、そして完成という意味があります。

・ヴァーヴ(ו)…釘、杭を象った象形文字で、上から打ち込まれる、差し込まれる、与えられるものを意味します。

・レーシュ(ר)…頭を象った象形文字で、かしら、思考を表す文字です。



・ヘー(ה)…窓を象った象形文字です。見るという意味があります。また窓は換気口という見方から呼吸、息という意味もあります。

これらの意味を組み合わせると「神より記しを与えられた頭をもって見る」つまり「選ばれた者は見る」というメッセージが浮かび上がってきます。律法は一見「命令と禁止事項」です。しかも現時点での人間では実行

不可能なものばかりです。しかし「神より記しを与えられた頭をもって見る」ならばこれはイエシュアをそして「御国」の完成を表す福音です。ヘブル的視点はまさにそれだと信じます。なぜならヘブル語は選ばれた民ユダヤ人の言葉だからです。そして二つ目の恵み「さらなる恵み」はイエシュアによって実現する「恵みとまこと」すなわち先ほど説明しましたヘセドとエメットに示された「御国」です。つまりどちらの恵みもヘセドであるように、その意味するものはどちらも同じ「御国」です。

7. 父

1:18 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。

イエシュアも私たちも、神のことを「父」と呼びます。なぜでしょうか。それは父はヘブル語でアーヴ(אָב)と表記するからです。



アーレフ(א)…雄牛を象った象形文字で、力ある神を表す文字です。

ベート(ב)…家を象った象形文字で、国、国家、国民などを表し、神の「御国」を直接的に表す文字です。

アーヴとは神の家、神の国すなわち「御国」です。では御国が神なのでしょうか。そうではありません。これは御国の必要性、御国の存在理由を表しているのです。すなわち「父なる神がほめたたえられるため」です。

ピリ 2:11

すべての口が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。